

2015~2016年度

ROTARY INTERNATIONAL



大宮東ロータリークラブ 週報

第2770地区 OMIYA EAST

ロータリーを学ぼう
ロータリーは奉仕を通して人づくり、自分作り
そして楽しむ

Riテーマ
Be a gift to the world

紛争解決月間

例会日	毎週水曜日	事務局	さいたま市見沼区東大宮	会長	中内 誠
時間	12:30~13:30	TEL	5-50-9・B-2	幹事	黒須英男
例会場	武蔵野銀行 東大宮支店	TEL	048-685-0145	クラブ強化	
創立	1978年10月28日	FAX	048-687-3495	常任委員長	堀江敏一
		Eメール	omiya.e.ro@nifty.com	広報委員長	志村 広
		http	://homepage3.nifty.com/omiyaeast/		

点鐘 中内 誠会長 ソング 手に手つないで
ビジター & ゲスト

- ◆荒井賢一様(栄東高等学校・理科研究部顧問)◆富永浩司様(栄東高等学校・理科研究部)
- ◆高木駿様(栄東高等学校・理科研究部)◆木村円香様(栄東高等学校・理科研究部)
- ◆今井旅生様(栄東高等学校・理科研究部)◆長澤啓太様(栄東高等学校・理科研究部)
- ◆多田侑理乃様(2015~2016年度韓国研修学生・栄東高等学校IAC)
- ◆郭 井聯様(国際ロータリー第2770地区2014~2016年度 米山記念奨学生)

会長挨拶 中内 誠 会長



皆さん、こんにちは。先日16日の大宮・ラフォーレ清水園で行われたインターシティミーティングにはお忙しい中にもかかわらず、多くの会員の皆さんにご参加いただきありがとうございます。今週水曜日に開催された会長・幹事でも会員の皆さんに遊馬ガバナ補佐よりお礼の言葉がありました。また改めて例会に参加させていただき皆さんにお礼をの事でした。今後、4月22日(金)にはIMチャリティゴルフが開催される予定ですので引き続き皆さんのご協力を宜しくお願い申し上げます。IM実行委員の河本エレクトにもご苦勞をおかけしますが宜しくお願いいたします。本日はお客様として栄東高等学校・理科研究部顧問荒井先生をはじめ理科研究部の富永君・高木君・木村さん・今井君・長澤君においていただきました。後ほど一年間の研究報告をよろしくお願いたします。また、2015~2016年度韓国研修学生の多田さんにも参加いただいております。例年ですと同じく後ほどご挨拶をお願いいたします。例年ですと韓国研修学生は2名ですが、今年度は栄東高等学校の事情により1名の派遣になり、多田さんは少し心細いかも知れませんが、地区内から同年代の高校生が多く参加しますので是非韓国で色々な経験を見聞を広める機会にしてもらえたらと思っております。さて、話しはかわりますが先日2月23日は何の日だかご存知でしょうか?2月23日はロータリークラブの第1回目の会合が開かれた日だそう。1905年アメリカシカゴにおいて青年弁護士のリチャード・タフトが、よい社会を作るには人の和をはかり世の中に奉仕する気持ちを多くの人に持つようになることが大切だと考え、友人の石炭商シルベスター・シール・鉱山技師ガスター・バスター・洋服商ハイラム・ショーレの3人と2月23日にこの理想を広く人々に呼びかけるための第1回会合を持つにいたしました。はじめ数ヶ月は非公式にブラスタークラブと呼んでいたそうですが、印刷業界のハリウッドクラブをはじめ他の友人が加わりシカゴロータリークラブの誕生となりました。ロータリーとは集金を順番に会員が各自の事務所を持ちま

わって開くことから名づけられたそうです。1908年にはサンフランシスコに2番目のクラブが作られ、1910年にはアメリカ国内で16のクラブが誕生したそうです。その後国境を越えカナダ・イギリスへと発展し1922年に国際ロータリーと呼ばれるようになったそうです。日本のロータリークラブは、1920年(大正9年)10月米山梅吉氏が東京に設立したのがはじまりです。世界で855番目のクラブで、続いて1922年に大阪・神戸・名古屋・京都・横浜に設立されました。当時、日本の統治下にあった朝鮮・台湾・満洲国にも設立され昭和15年には48クラブ2,000名の会員を数えるまでになりましたが、太平洋戦争の影響により日本のロータリーは国際ロータリーから一時脱退することになりました。戦時下でもロータリーの精神と組織は失われず例会は続けられていたそうです。1949年(昭和24年)3月には戦後の平和回復とともに、国際復帰を目指す努力が実現し、東京・大阪をはじめ7クラブが国際ロータリーの復帰を認められました。現在は、日本全国で34地区・クラブ数2,278クラブ、会員数は89,700名にのぼります皆さんご承知のように、我大宮東ロータリークラブは1978年(昭和53年)10月28日に創立され私で38代目になりました。昨日クラブの歩みを見てみましたが38年間に色んなことがあったんだなと実感いたしました。この歴史を全て経験されているのは荒井先生だけになりますので言うお話を聞きます機会が例会でもってらと思ってあります。先週は風邪で声が出ず皆さんにもご迷惑をおかけしましたが、本日はちょっと真面目にロータリークラブの誕生にちなんで話をさせていただきます。何故真面目な話をしたかと言いますと本日18:30から事務局において入会3年未満の会員を対象にしたオリエンテーションがあるからです。中々都合がつかずに参加人数が少ないのが残念ではありますが、急遽の参加でも大丈夫ですので、特に入会3年未満の会員の皆様にはロータリー活動に興味をもっていただき、多くの皆さんの参加をお願い申し上げます。本日も皆さんよろしくお願いたします。

幹事報告 黒須 英男 幹事



1. 3月のロータリーレポートは116円です。
2. 会員オリエンテーションを本日18:30より事務局にて開催いたします。
3. 大宮東RAC創立10周年記念式典が4月9日(土)14時より東大宮コミュニティーセンターにて開催されます。皆様のご出席をお願いいたします。

ご挨拶 荒井賢一様

この度は韓国研修学生につきましてこのような訪韓の機会、ご支援を頂き感謝申し上げます。芝川の研究につきまして昨年度、助成金をいただきありがとうございます。研究の費用として使わせていただき、大変感謝しております。後ほど研究発表をさせていただきます。本日はありがとうございます。

ご挨拶 多田侑理乃様

この度は韓国研修という素晴らしい機会を与えてくださって本当にありがとうございます。ロータリークラブの皆様へ感謝申し上げます。この研修に参加するきっかけは研修に参加した先輩方からとても楽しいのでぜひ参加した方がよいと話聞いたからです。ホームステイにとっても興味があり、韓国の文化や人々に出会えるとても貴重な経験が出来ると思うのでとても楽しみにしています。短い期間ではありますが現地の方と触れ合えるように努力いたしますのでよろしくお願い致します。

出席報告 瀬田一雄副委員長

月日	総員	出席	欠席	MU	%	
2/24	47	20	7	27	0	47.62
前回	47	32	7	5	10	100.00

スマイルBOX報告 鈴木八郎副委員長

◎栄東高等学校の皆様、ようこそいらっしゃいました。研究発表よろしくお願いたします。
*中内誠会長・橋本之介会員*河本博会長エレクト・黒須英男幹事・三枝和男会員
*恩岡昭会員・片柳高会員・金子清万会員・金子泰夫会員・茂田雅良S.A.A・清水伸洋会員・鈴木八郎副委員長・瀬田一雄副委員長・高橋洋文会員
東条和彦会員・田中秋弘会員・堀江敏一副会長・山田康博会員・渡部正司会員
ご協力ありがとうございました。
20件27,000円合計985,623円

栄東高等学校の皆様



卓話 栄東高等学校・理科研究部

『芝川における流水域と止水域の違い』
木村円香・高木駿・今井旅生・富永浩司・長澤啓太・上原悠太郎・荒井賢一
理科研究部では1988年からさいたま市にある砂大橋において芝川の水質調査を始め、2010年度から水質調査に加えて生息生物調査を継続しています。また2012~3年には流域住民にアンケートを実施しました。2013~4年には流域住民と協力して清掃活動を実施しました。2015年度は水質調査、生息生物調査を流水域の道三橋、砂大橋、大宮境橋、見沼大橋、八丁橋、白鷹歩道橋の6地点で行いました。止水域では第七調整池、みぬまの沼、第一調整池の3地点で行いました。水質調査の概要、調査項目は気温・水温・透視度、DO(溶存酸素量)、pH、COD(化学的酸素要求量)、NH4-N(アンモニウム態窒素)、NO2-N(亜硝酸態窒素)、NO3-N(硝酸態窒素)、PO4-P(リン酸態リン)です。流水域における考察、砂大橋周辺ではCOIが観測されているが水質の汚染は進んでいないが、他の地点とくらべて、魚やエビが採取されていないので生物が棲みやすい環境であるとは言えない。道三橋では人が放流し、繁殖したであろうメダカが採取され、ドジョウ、フナ、ミシシッピアカミミガメのように比較的汚い環境でも生息する生物が採取されたので水質の汚染は他の地点と比べ進んでいると言えます。みぬまの沼ではアメリカザリガニを採取できたので水生生物の外來種が進んでいることがわかります。第七調整池でテナガエビとスジエビが繁殖している可能性があり、動物プランクトンが数多く存在している餌にする動物が棲める環境だと言えます。流水域と比較した止水域における水質の考察は水温は流水域と比べて場所によって変化がないため、止水域の方が水生生物にとって生息しやすい環境です。DOは流水域とほぼ同じ、pHは止水域の方が塩基性を示して7.5を超えています。これは止水域であるため流れてきた生活排水などがそのまま流れずに残っているからだと考えられます。これにより止水域は水生生物にとって棲みづらい環境であると言えます。水質調査の結果を踏まえて考えると芝川の流水域の方が生物が生息しやすいと考えられる。この原因は、水質調査の結果によると流水域の方が透視度の値が低く、リン酸態リンの値も高くなっていることからだと考えられます。又生息生物調査の結果を見ると水質調査の結果と同様に止水域の方が生息しやすい環境であると考えられます。この原因は流水域の方が比較的汚い川に住んでいる生物が少ないことからだと考えられます。これにより止水域は流水域と比べて生物が棲みやすいと一般的に考えられているが実際は止水域の方が棲みづらい環境になっています。今回の調査で流水域の透視度の急激な悪化が見られたが原因がつかめていないので来年度の調査で調べたいと考えています。生息生物調査に関しては今回よりも詳しく芝川の生態系について調べたいと考えています。